

美しき手仕事

新収蔵品を中心に

2024 4/9(火) - 6/30(日)

休館日 月曜日(4月29日、5月6日は開館)

開館時間 午前9時30分 - 午後5時

会場 第1・第2民芸館

観覧料 一般 300円 高大生 200円

中学生以下と豊田市在住の70歳以上、障がい者は無料(要証明)※

※その他の減免については豊田市民芸館HPをご覧ください。

主催 豊田市民芸館

胡桃手提げ籠・山葡萄手提げ籠 上村健三 令和4年度奨励賞(日本民藝館展優品)

豊田市民芸館

美しき手仕事 新収蔵品を中心に

本展では、「美しき手仕事」をテーマに、近年収集した手工芸品や寄贈を受けた資料を中心に紹介します。

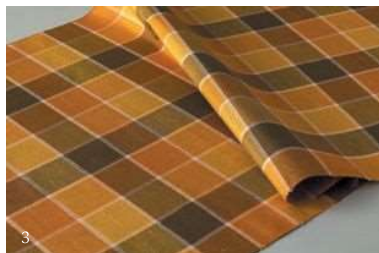
第一民芸館では、日本民藝館展(年に一度開かれる全国公募の新作工芸品展)の優品、絞り染めなどの染織品、手漉き和紙やぎざち(切り紙)などを展示。第二民芸館では、故高松静男氏が収集したアイヌの



1



2



3



4



5



6



7



8

工芸品や瀬戸の石皿、そば猪口など、3000点を超える資料の受贈を記念して、多数の優品が含まれた高松コレクションの中から厳選した作品を紹介します。

民藝運動の創始者・柳宗悦(1889-1961)は、著書『手仕事の日本』のなかで、「手はただ動くのではなく、いつも奥に心が控えていて、これがものを創らせたり、働きに喜びを与えたり、また道徳を守らせたりする」と語りました。この展覧会を通じて、こうした手による仕事がいかに大切な意味をもつのかを、あらためて省みる機会になればと思います。

1. 胡桃手揚げ籠・山葡萄手揚げ籠 上村健三 令和4年度奨励賞(日本民藝館展優品)
2. 吹きガラス大皿 石川昌浩 令和3年度日本民藝館賞(日本民藝館展優品)
3. 網格子着尺 青田美穂 令和5年度入選(日本民藝館展優品)
4. 樺細工散し皮縦貼茶筒 米沢研吾 令和5年度入選(日本民藝館展優品)
5. 打掛一斗五升壺 坂本拓磨 令和4年度日本民藝協会展賞(日本民藝館展優品)
6. アイヌ切伏衣裳(高松コレクション)
7. 菖蒲文石皿(高松コレクション)
8. 馬文そば猪口(高松コレクション)

関連プログラム

民芸館ホームページを随時更新します。

周辺施設のご案内

□ 豊田市本多記念民芸の森
「本多静雄の眼」展 4月4日(木)~6月16日(日)

□ 豊田市博物館
4月26日(金) オープン 開館記念イベントはホームページまで

□ 豊田市美術館
「未完の始まり: 未来のヴァンダーカンマー」展
1月20日(土)~5月6日(月・祝)



豊田市本多記念
民芸の森



豊田市博物館



豊田市美術館



交通のご案内

電車 | 名鉄三河線平戸橋駅より徒歩15分

車 | 東海環状自動車道 豊田勘ハイインターより車で10分